



地域社会・グローバル社会

気候変動を始めとした環境課題への対応

環境配慮型製品へのニーズが一層高まるなか、グローリーグループの持つ技術力で、環境負荷の低減と地球資源の保護につながる製品とサービスをグローバルに展開し、地球環境の“確かな未来”に貢献します。

環境ビジョンと具体的な取組み

▶ グローリー環境ビジョンと2023中期環境計画

当社グループは“GLORY GREEN CHALLENGE みんなの力と技術で導く豊かな地球”を環境スローガンとし、2010年、環境ビジョンを掲げました。このビジョンに基づき、2021年4月からの3ヶ年を計画期間とした「2023中期環境計画」を策定し、その達成

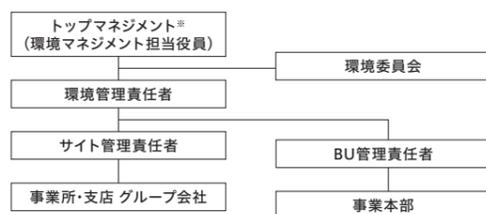
に向けた取組みを展開しています。具体的には、環境に配慮した製品の開発、事業活動に伴う環境負荷の低減、環境意識のイノベーションの領域を活動分野とし、さらにそれぞれに活動テーマと活動計画・目標を定めて推進しています。

2023中期環境計画

活動分野	活動テーマ	2023中期環境計画・目標
製品 環境に配慮した製品の開発	製品・サービスによる環境貢献	●製品使用時におけるCO ₂ 排出貢献量 2万トン(2013年度比)
		●全製品のRoHS適合率100% ●環境法令違反ゼロ
事業 事業活動に伴う環境負荷の低減	事業活動における環境負荷の低減	●事業活動におけるCO ₂ 排出量の削減 15%(2013年度比)
		●製品売上高に占める環境配慮型製品の比率向上 70%
	資源循環社会への貢献	●PRTR法対象物質 適正管理 ●物質収支報告 異常収支なし ●廃棄物排出量の抑制 ●一般廃棄物 12%削減、産業廃棄物 3%抑制(2012年度比) ●ゼロエミッション達成維持
意識 環境意識のイノベーション	生物多様性の保全	●生態系調査(植生・生物) ●ステークホルダー(地方行政、その他関連団体)との対話と協働 ●環境教育の実施
	環境コミュニケーションの推進	●統合レポート・サステナビリティサイトでの社外PR ●CDP評価の維持改善

▶ 環境マネジメント体制

当社グループは、事業活動のあらゆる局面で環境への負荷を削減するために、ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを導入し、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減、化学物質の適正管理から環境配慮型製品の開発まで幅広く取り組んでいます。



※環境マネジメントシステムの最高責任者で、社長より、環境マネジメントシステムの推進と維持に関するすべての権限と責任を委嘱された環境マネジメント担当役員。

2002年3月に本社・本社工場がISO14001の認証を取得以降、現在その対象範囲を当社の主要事業所・支店及び製造系グループ会社に広げています。さらに、海外のグループ会社においても認証を取得し、包括的な環境負荷低減に努めています。推進体制は、事業活動の環境負荷低減に取り組む「サイト」と製品の環境負荷低減に取り組む「BU(ビジネスユニット)」で構成され、経営基本方針や環境方針と連携した年度ごとの環境管理活動方針を策定し、環境管理体制を始め、製品・サービスなどあらゆる事業活動においてマネジメントシステムの充実と継続的改善に努めています。

「環境管理委員会」を設置し、活動方針の各サイト・BUへの展開と実施状況の確認、環境問題・対策内容の共有と水平展開を図るなど、グループ一体となりPDCAサイクルを回して事業と一体化した活動に取り組んでいます。

▶ 事業活動に伴う環境負荷低減

CO₂排出量の削減、化学物質の管理、資源の有効活用などの取組みを継続的に行っています。

まず、CO₂排出量の削減に関しては、生産工程で高効率タイプの生産設備を導入し、また、電力監視システム(デマンド監視機能)やLED照明、人感センサーの導入などを進めるとともに、本社社屋の屋上に太陽光発電システムを設置し、再生可能エネルギー

CO₂排出量



※1 2021/3実績より、国内CO₂排出量にガソリン・軽油を含む
 ※2 国内のISO14001認証取得拠点を対象としています。
 ※3 次の海外のISO14001認証取得拠点を対象としています。
 光栄電子工業(蘇州)有限公司
 GLORY (PHILIPPINES), INC.
 Glory Global Solutions (France) S.A.S.
 Glory Global Solutions (Germany) GmbH
 Glory Global Solutions Inc.

また、化学物質の管理・削減については、生産工程で使用する化学物質の管理を徹底するとともに、人体に影響の少ない化学物質への転換を進めています。製造部門では、化学物質の使用量を管理し年2回報告している他、「化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)」対象物質を含む化学製品を使用する従業員には、取

PRTR法対象物質取扱い量(国内)



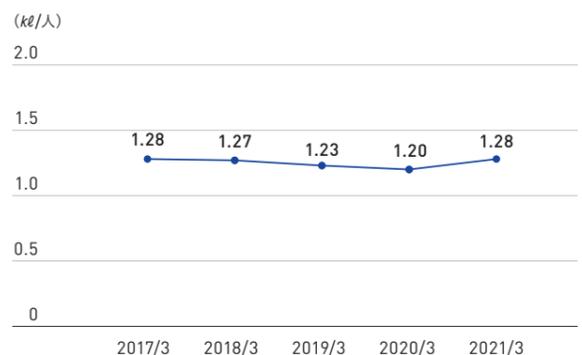
※ 国内のISO14001認証取得拠点を対象としています。

WEB 事業活動に伴う環境負荷低減

<https://www.glory.co.jp/csr/environment/activity/>

を積極的に利用。さらに、トラック輸送から鉄道や海上コンテナに切り替えるモーダルシフトの推進や配送方法の効率化、梱包材の軽量化などに取り組んでいます。その結果、2020年度目標のエネルギー消費量従業者原単位年平均1.0%削減(2010年度基準)に対して、1.8%を削減しました。今後は、2023年を目標年度としている2013年度比15%削減に向けて活動を推進してまいります。

エネルギー消費量(従業者原単位)



※ 国内のISO14001認証取得拠点を対象としています。

扱いに関する教育等を実施しています。

資源の有効活用のために、生産工程での改善を図り、部品製造時の歩留まり率の改善等によって原材料の使用量を削減しています。生産拠点では再資源化率99.5%以上をゼロエミッションと定め達成を目指しています。

廃棄物排出量



※1 国内のISO14001認証取得拠点を対象としています。
 ※2 次の海外のISO14001認証取得拠点を対象としています。
 光栄電子工業(蘇州)有限公司
 GLORY (PHILIPPINES), INC.
 Glory Global Solutions (France) S.A.S.
 Glory Global Solutions (Germany) GmbH
 Glory Global Solutions Inc.

■ 環境配慮型製品の開発

▶ 環境配慮型製品とその効果

当社グループは、低炭素社会の実現に向けて、より継続的な環境保全活動に取り組むため、製品使用時のCO₂排出量を2030年に2005年比30%削減することを長期目標に掲げ、環境配慮型製品の開発に取り組んでいます。また、お客さまの要望に応じてライフサイクルアセスメント(LCA)を実施し、資材調達からお客さまの製品使用、廃棄までを踏まえた製品のライフサイクルの全段階で環境影響を評価しています。

新製品開発時には、「省エネルギー性」や「再利用、再資源化」など約60項目からなる製品アセスメントを実施し、環境影響を従来製品と比較評価しています。このアセスメントにより、「消費電力量低減率15%以上」「製品含有化学物質規制対応」など、当社独自の基準を満たした製品を「G-エコ製品」として認定しています。2020年度に開発した新製品の24%が「G-エコ製品」として認定されており、金融市場向け硬貨計数機 <CM-702> は、従来機に比べて使用時の消費電力量を34%削減しました。加えて、リサイクル可能率は90%を達成しています。



硬貨計数機<CM-702>

▶ 環境に配慮したメンテナンス製品の開発

当社は、環境に配慮しながら電気製品や精密機器に付着したゴミやホコリを除去するエコ・メンテナンス製品として、エアダスター<リサイクルジェット>を開発しました。エアダスターで通常使われている代替フロンを使用せず、産業副産物として回収された炭酸ガス(CO₂)を噴射ガスとして充填。これにより、地球温暖化係数が既存品に比べ約1,430分の1となりました。ポンペを着脱式にし再利用可能としたことで、廃棄物の削減できます。同時に、全国100ヶ所以上の保守拠点のテクニカルスタッフが保守作業時に使用済みポンペを回収し、提携している炭酸ガス充填工場で再充填する独自の循環型スキームも構築。2020年度は、49,672本を充填し、販売しました。



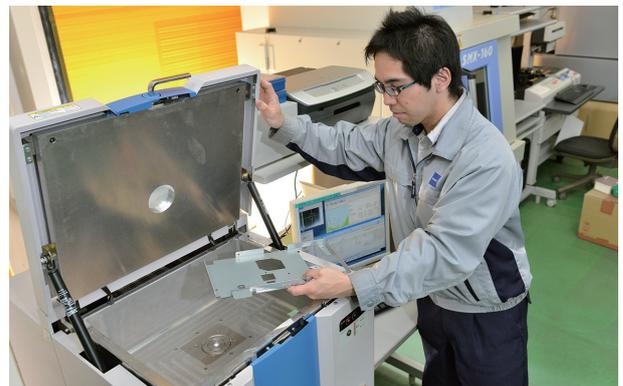
リサイクルジェット



リサイクルジェット使用例

▶ 製品含有化学物質の管理

当社グループは、RoHS指令やREACH規則、その他の法規制で規制されている物質を「グローリー指定化学物質リスト」に指定し、グリーン調達基準において使用禁止とするなどの管理を進めています。製品の構成部材の選定時に、化学物質規制の適合品であることを確認するほか、部材納入時には、蛍光X線分析装置で厳密な検査を実施。また、化学物質含有量を調査し、化学物質管理システムに登録することで、製品全体の含有量が容易に集計できるようにしています。さらに、新製品出荷時にはすべての製品が関連する規制に適合しているかを検査しています。国内外のお取引先さまには当社のグリーン調達基準に準拠した部材を納入いただくとともに、グリーン調達に関する覚書を締結し、含有化学物質の情報提供をお願いしています。



部品の含有化学物質検査